

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

シロイチモジヨトウ、オオタバコガの防除対策の徹底について

シロイチモジヨトウ及びオオタバコガについては、9 月 30 日付け病害虫対策資料第 12 号で注意喚起を行ったところですが、その後もフェロモントラップの誘殺数は平年を上回って推移しています。また、タマネギ苗床ではシロイチモジヨトウによる被害も確認しており、今後、野菜類・花き類で被害が拡大するおそれがあります。

については、各圃場での発生状況に注意し、下記を参考に防除対策を徹底するよう生産者への指導をお願いします。

記

1. シロイチモジヨトウ、オオタバコガの発生状況

- 1) 10 月 19～20 日に行ったタマネギ苗床の定期調査において、チョウ目幼虫（シロイチモジヨトウ主体）の寄生株率が 4.0%（平年 0.2%、前年 0.5%）であり、平年より多い。また、食害も複数圃場で確認した。
- 2) シロイチモジヨトウのフェロモントラップへの誘殺数は、9 月以降、平年より多い（図 1）。
- 3) オオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数は、9 月後半以降、平年より多い（図 2）。
- 4) 九州北部地方の 1 か月予報（福岡管区气象台 10 月 29 日発表）では、向こう 1 か月の気温は平年より高いと予想されており、これらの増殖・活動に好適である。

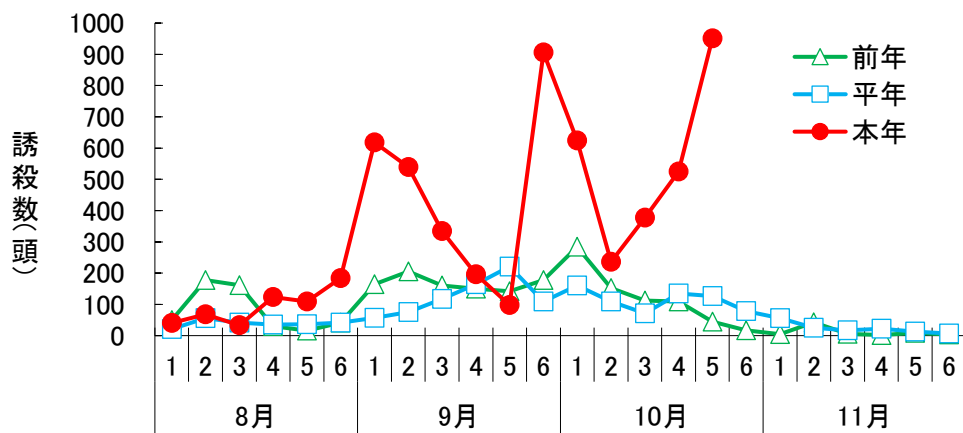


図 1 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウの半月別誘殺数
（佐賀市川副町・農業試験研究センター調査）

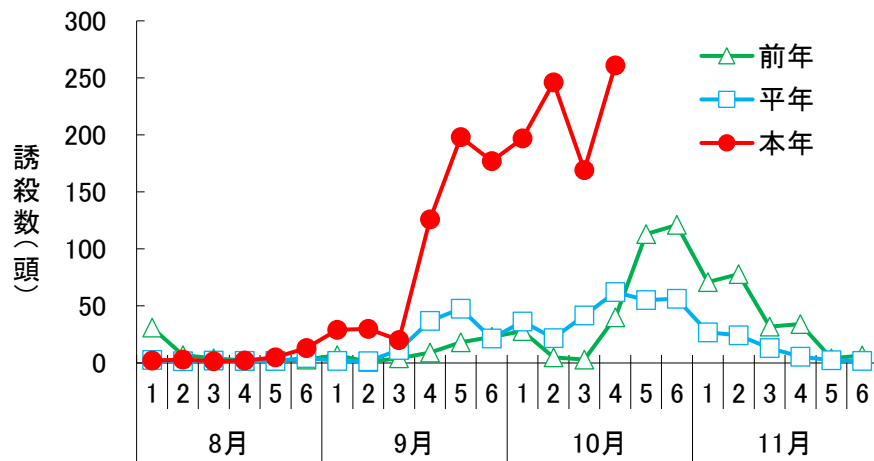


図2 フェロモントラップによるオオタバコガの半旬別誘殺数
(佐賀市川副町・農業試験研究センター調査)

2. 防除対策

- 1) 発生状況は圃場ごとに異なるため、必ず圃場を確認し、幼虫の発生を認めた場合は早急に防除対策を行う。
- 2) 発生種によって薬剤の効果が異なるため、薬剤の選定には注意し、散布後は効果を確認する。
- 3) 薬剤選定にあたっては、過去に使用した薬剤の防除効果の程度や、9月30日付け病害虫対策資料第12号を参考にする。**農薬の使用に当たっては、作物登録の有無を含め、必ず最新の登録内容（希釈倍数等）を確認する。**
- 4) 幼虫は、齢が進むと薬剤の効果が低下するため、若齢幼虫期に防除を行う。
- 5) 薬剤感受性の低下を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布する。
- 6) シロイチモジヨトウの卵塊や分散前のふ化幼虫の寄生葉は速やかに摘み取り処分する。
- 7) 施設栽培では、開口部に防虫ネット（4ミリ目以下）を設置して成虫の圃場内への侵入を防ぐ。
- 8) 圃場周辺の雑草は増殖源となるため、除草を徹底する。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840-2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952) 45-8153 FAX (0952) 45-5085

Mail nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

病害虫総合防除計画掲載アドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321928/index.html>

農技防センター



総合防除計画

